

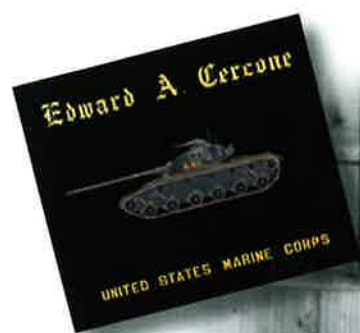
漆芸家シリーズ 2017

◆沖縄県芸術文化祭沖縄ミエンナーレ 提携事業◆

こ は ざめ ゆい いち

# 古波鮫 唯一展

ついきん  
～沖縄の美・堆錦の技～



戦後沖縄の漆器と歩んだ男

上:黒漆米軍戦車堆錦アルバム表紙 右:黒漆紅型文堆錦文庫(いずれも浦添市美術館蔵)

平成29年11月29日(水)～12月10日(日)

浦添市美術館

開館時間/9:30～17:00(金曜～19:00)

休館日/月曜日 観覧料/無料

主催:浦添市美術館 後援:沖縄県博物館協会

お問合せ 〒901-2103 沖縄県浦添市仲間1-9-2 電話 098-879-3219 FAX 098-878-1221

現代の漆芸家を紹介する「漆芸家シリーズ」。6回目となる今年度は、株式会社「紅房」で約50年間堆錦職人として活躍した古波鮫唯一氏とその作品を紹介します。堆錦とは、色材となる顔料に漆を混ぜこねた材料を薄くのぼし、文様の形に切り取って貼りつける技法です。琉球漆器の堆錦は中国から伝わり、王国時代に琉球で改良されて独特の発展を遂げました。

古波鮫氏は1952年(昭和27)、17歳で「紅房」に就職します。堆錦技法に熟達し、様々な堆錦技術を発展させていきます。古波鮫氏が文様のブリキ型を開発したことで、同じ文様をいくつも製作することが可能になりました。また、色違いで同じ薄さの堆錦を平らに並べて貼るといふ、非常に難しい表現にも挑戦しています。

この展覧会では、古波鮫氏独自の感性の堆錦作品や資料約40点をご紹介します。古波鮫氏の様々な堆錦作品を通して、戦後の紅房や沖縄の漆器の歩みをお楽しみください。



黒漆月桃文堆錦宝石箱 (個人蔵)

黒漆三角松葉文堆錦箱・幾何文堆錦香合 (個人蔵)

黒漆鸚鵡植物堆錦盆 (浦添市美術館蔵)

朱漆山水図堆錦東道盆 (個人蔵)

黒漆カンナ堆錦鉢 (個人蔵)

黒漆花樹絵替堆錦パネル (浦添市美術館蔵)

■交通情報・地図

バスご利用の場合 ※いずれのバス停からも徒歩5分

那覇市外線バスターミナルより	首里鳥堀方面より
(21) (90) (98) (112) 大平バス停下車	(91) (191) 美術館前バス停下車
(55) (56) 美術館前バス停下車	

モノレールご利用の場合

モノレール古島駅下車	
バスに乗り換え (21) (90) (98) (112) 大平バス停下車、徒歩5分	タクシーに乗り換え 国道330号を 北へ約3 km

自動車ご利用の場合

那覇空港から国道330号  
または国道58号を  
北(宜野湾方向)へ約12 km

